



関労働基準監督署
平成 29 年 11 月 13 日 発表

担 当	関労働基準監督署
	安全衛生課長 橋本康宏 電話 0575-22-3251 F A X 0575-22-3407

製造業「はさまれ・巻き込まれ災害」事例検討会の開催について

関労働基準監督署（署長 平林健生）は、下記により管内の製造業ではさまれ・巻き込まれ災害を発生させた事業場を対象とした標記事例検討会を開催します。

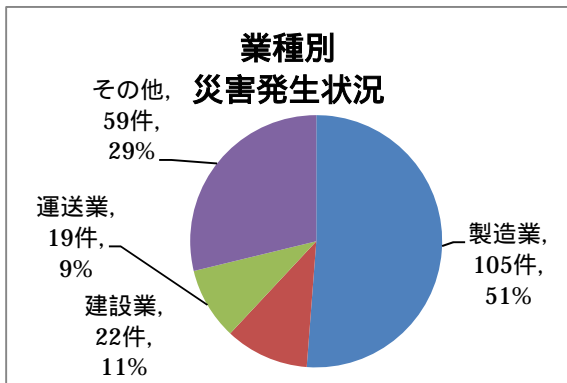
関労働基準監督署管内の平成 29 年（10 月末速報値）の製造業における労働災害発生状況は休業 4 日以上死傷者数が 105 人となり、前年に比べ 21 人の増加（25.0%増）となりました。この中で製造業における事故の型別を分類すると「はさまれ・巻き込まれ災害」は 35 人となっており、1/3 を占めています。

はさまれ・巻き込まれ災害は、死亡災害や腕を亡くすなどの、重篤な災害となる場合が多く、これらの災害を未然に防ぐためには、災害の直接原因だけでなく根本的な原因究明が求められます。根本的な原因究明のために 4M（人間・設備・作業環境・管理）分析は幅広く網羅的に災害を分析する手法として活用されており、今回この 4M の概要の説明と災害原因究明演習で構成する事例検討会となります。

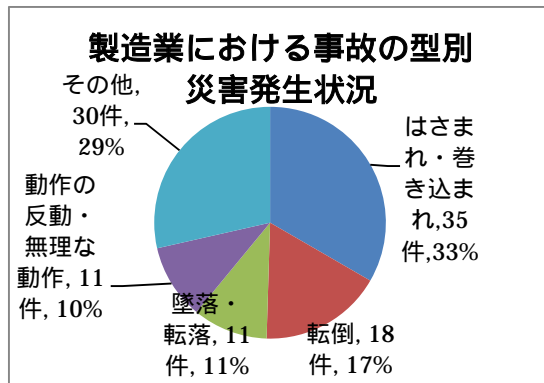
関労働基準監督署では以上の状況を踏まえ、関係事業場の事業者、安全衛生担当者を対象に、自主的な「はさまれ・巻き込まれ災害防止対策」の促進を目的として事例検討会を開催するものです。

記

- 開催日時 平成 29 年 11 月 16 日（木）13:20～16:40
- 開催場所 わかくさ・プラザ 関市総合福祉会館 3 階会議室
（関市若草通り 2 丁目 1 番地）
- 内 容 4M（人間要因、物的要因、作業環境要因、管理要因）の解説
災害事例を活用した原因究明・対策の検討
講師：中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター
安全管理士・衛生管理士 山口好孝
- 出席者 管内製造業事業場の事業者または安全衛生担当者（約 20 名出席予定）



出典：労働者死傷病報告（平成 29 年 10 月末現在、休業 4 日以上）



出典：労働者死傷病報告（平成 29 年 10 月末現在、休業 4 日以上）

当日、受付にて資料を配布しますので、取材方よろしくお願ひします。